

～14年連続受賞～

GOOD DESIGN
AWARD 2020

2020年度グッドデザイン賞 4プロジェクト受賞

【通り土間（クレヴィア横濱弘明寺）】

【理想の新婚部屋②『セタカップルの愛ある家庭内週末婚』が叶う部屋】

【クレヴィアウィル早稲田】

【一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント《B-Pam》】

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長:松典男)は、下記4プロジェクトが、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2020年度グッドデザイン賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。今回の受賞により、2007年から14年連続の受賞となります。今後も、お客様のニーズや社会の変化にあわせた商品開発を行うとともに、未来を見据えた新たな価値を創造しながら、快適な住まいを提供して参ります。

◆受賞プロジェクト一覧

1. 通り土間（クレヴィア横濱弘明寺）

マンション1階住戸において、玄関口と専用庭からの勝手口とを土間で繋げ、土足のまま部屋を通り抜け出来るプラン。昔から日本の建築に取り入れられてきた通り土間をマンションに取り込み、屋外と室内の中間的空間とすることで、普段屋外で行う作業を室内でできるようにした。使用用途が広がり、多様化するライフスタイルに対応した間取りを実現。



2. 理想の新婚部屋②『セタカップルの愛ある家庭内週末婚』が叶う部屋

ゼクシィ編集部との共同取組【理想の新婚部屋づくり】で考案した「イマドキ新婚夫婦の理想や願望を叶える新発想の住空間」の1つを計画中だった新築賃貸マンションで実物件化。生活リズムが大きく異なる夫婦が、普段は相手に気兼ねなく過ごし、貴重な2人一緒に過ごす休日は仲良くまったりできるプラン。近年増加中の、互いの個を尊重して平日は別居する「週末婚」夫婦に最適な住空間。



3. クレヴィアウィル早稲田

10種類の用途やテーマの異なる共用ラウンジを学生寮の各階EVホールに配置。寮生は興味を持ったラウンジで寛いだり気の合う仲間と交流できる。更に個室への通過導線にラウンジを配置しているため、興味異なる寮生とも交わる”止まり木”となって偶然の出会いも生み、学生に新たな交流や挑戦の機会をもたらす。「食事と安全」の提供に留まらない「成長支援型」の学生寮である。



4. 一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント《通称:B-Pam》

「幕張ベイパーク」におけるエリアマネジメント組織。エリアマネジメント組織の運営における様々な問題を解決し、街の継続的な価値向上を実現するため、住民と店舗が主体となって取り組む「街そだて」の仕組み、一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント《通称:B-Pam(ビーパム)》を立ち上げた。



＜本ニュースリリースに関するお問い合わせ＞

伊藤忠都市開発株式会社 経営企画部/有吉 TEL:03-6811-0221

2. 理想の新婚部屋②『セタクカップルの愛ある家庭内週末婚』が叶う部屋（特許出願中）

（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ、株式会社フリークスとの共同受賞）

ゼクシィ編集部との共同取組【理想の新婚部屋づくり】で考案した「イマドキ新婚夫婦の理想や願望を叶える住空間」の1つを計画中であった「クレヴィアリグゼ門前仲町」の1室で実物件化しました。2人の休日や就寝時間が異なり生活リズムがバラバラで会話の時間も少ない共稼ぎ夫婦が、普段は物音や気配で就寝中の相手を起こさぬよう気兼ねすることなく、貴重な2人同時の休日とはつまらないケンカをせず仲良く過ごし、より相手がいとおしくなる部屋です。近年増加している、互いの個を尊重して平日は別居するという所謂「週末婚」スタイルを実践する夫婦にとって、最適な住空間です。



左右均等に設えた専用個室(寝室)



広いリビングベッドを配したリビング・ダイニング



外観

<デザインのポイント>

- ・玄関からの導線を分けた夫婦別寝室とし、普段は相手に気を遣わず、相手にも気を遣わずに生活できる点
- ・各自専用の平等な寝室・洗面・ロフト・収納・下足入があり、使い方や掃除が杜撰でもケンカの種にならない点
- ・織姫と彦星の逢瀬の如く、貴重な2人一緒の休日は広いリビングベッドで仲良くまったり過ごせる点



妻の専用個室(寝室)



夫の専用個室(寝室)



妻の専用ロフト



夫の専用ロフト

<審査委員評価コメント>

新婚夫婦のための理想の部屋を実物件化したコンセプトルームである。洗面浴室の水回りを部屋の中央に配置し、左右均等に個室を振り分けている。2つの個室はロフトの面積まで全て平等で、各個室を通ってLDKに行く動線も面白い。「愛ある家庭内週末婚」を実践する若い夫婦が想定されているが、このプランは他人と自然にシェアして暮らすことができる。個室へは玄関から直接アクセスするので自宅のワークスペースとしても使いやすいし、外部の人も招きやすい。50㎡/2LDKという一般的な間取りにもまだ可能性があり、新しい住まい方が提案できることを気付かされ、高く評価された。

◆概要

間取り(専有面積)	2LDK+2LOFT(50.46㎡)
竣工年月	2020年2月
公式HP	https://shikon-room.jp/h_room2.html

3. クレヴィアウィル早稲田

(伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社、株式会社 tono、株式会社レーモンド設計事務所との共同受賞)

留学生と日本人学生が混住する学生寮を心地良いコミュニケーションが生まれる場にするため、1 階には大型キッチン付きビッグラウンジ、各階には性格の異なる 10 種類の共用ラウンジを EV ホールに配置しました。寮生は、興味を持ったラウンジで寛いだり気の合う仲間と交流できるほか、個室への通過導線と交わるラウンジは、興味の異なる寮生とも自然に交わる”止まり木”となって、偶然の出会いが生まれる空間にもなります。「食事と安全」の提供が役割であった「保護管理型」の学生寮スタイルを脱し、学生に新たな交流や挑戦の機会をもたらす新しい「成長支援型」の学生寮を目指しました。



1 階のビッグラウンジ・左奥が大型キッチン



外観

<デザインのポイント>

- ・交流の場として気分や目的に合わせて使用できる魅力的なインテリアの共用ラウンジを 2～11 階に 10 種類設けた。
- ・生活動線上の EV ホールに共用ラウンジを配置し、興味が異なる寮生とも偶然の出会いや交流が起こるよう工夫。
- ・共用ラウンジは”交流型”だけでなく”マイプレイス型”も用意し、一人でも気軽に立ち寄れるように配慮。

【交流型の共用ラウンジ例】



2 階ラウンジ
【ジム】
軽い運動でリフレッシュ
出来ます。



3 階ラウンジ
【シアター】
映画鑑賞や相互プレゼン
などが出来ます。

【マイプレイス型の共用ラウンジ例】



9 階ラウンジ
【自然の隠れ家】
ハンモックで寛げます。



10 階ラウンジ
【DEN STUDIO】
勉強や読書に集中
出来ます。

<審査委員評価コメント>

昨今、様々なプロジェクトで求められる「交流スペース」への鮮やかな回答である。押し付けられる交流ではなく、利用者が主体的に選べられるように巧みに設計されている。「マイプレイス型」と呼ばれる共有部が通過動線となるエレベーターホールへ設置されており、11 階建ての中に 10 種類の性格の異なったスペースとそれを訴求するデザインが、丁寧に設計されている。「偶然の出会い」と「建築計画」は相反することであるが、その双方が「いい塩梅」に実現されている。

◆「クレヴィアウィル早稲田」物件概要

事業主	伊藤忠都市開発株式会社	敷地面積	825.16 m ²
所在地	東京都新宿区西早稲田 1-19-13	専有面積	13.05 m ² ～15.09 m ² (トランクルーム含む)
室数	197 室、管理員室 1 室	竣工年月	2020 年 2 月
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 11 階建	公式 HP	https://cvw-waseda.jp/

4. 一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント《B-Pam(ビーパム)》

(三井不動産レジデンシャル株式会社、野村不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、東方地所株式会社、株式会社富士見地所、袖ヶ浦興業株式会社との共同受賞)

「幕張ベイパーク」において、既存の自治会等がない中、ゼロから進めている街だからこそ、そして、複合機能が集積するミクストユースの街だからこそ構築することができた、かつてないエリアマネジメント組織です。

エリアマネジメント組織の運営における様々な問題を解決し、街の継続的な価値向上を実現するため、住民と店舗が主体となって取り組む「街そだて」の仕組み、一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント《通称：B-Pam(ビーパム)》を立ち上げました。



以下の三本柱を据え、入念な組織設計と拠点の創出、事前活動を行うことで、街びらき後1年で活動の活性化を実現。

- ① この街ならではの新たな組織制度設計
- ② リアルとWEB、両方のコミュニティ拠点を創出
- ③ 入念な事前準備活動による「街そだて」の協力者・担い手を募る



住民・店舗とのディスカッション



幕張ベイパーク クリスマスイベント

<審査委員評価コメント>

コミュニティの形成を考えると課題となるのが、参加者の善意に委ねるだけでなく、いかに持続可能な仕組みをデザインするかだと思う。幕張ベイパークエリアマネジメントでは自治会・商店会などの機能を統合することにより、コミュニケーションを円滑なものとした。またマンション管理組合向けのサービスを提供することで収益事業を内包し、立ち上げ時の関係者が離れてしまっても自立するようあらかじめ担い手を募集することで、持続可能な組織も目指している。多くのコミュニティビルディングで直面する課題に真正面から取り組んだことを評価した。

◆公式 HP <https://www.b-pam.com/>

《参考》 伊藤忠都市開発 グッドデザイン賞実績
<https://www.ipd.co.jp/gd/>